

## 学校訪問で児童らと交流

9月9日(月)と10日(火)に台湾陸上協会代表候補選手らは、中沖小学校と持留小学校を訪問し、児童らと交流しました。

中沖小学校では、代表候補選手らによる陸上教室が開かれ、プロの走り方を教わりました。ミニハードルを使用した練習では、主に走る姿勢について教わり、児童らは選手たちと貴重な時間を過ごしました。

持留小学校では、児童らが歓迎看板を作成し、選手らを出迎えました。陸上教室も行われ、選手と一緒にリレーなどを楽しみました。また、体育館では、児童が考えたレクリエーションを選手と楽しみ、笑顔が絶えない楽しい雰囲気での交流会となりました。

児童らは、最初は緊張した様子でしたが、交流していく内に緊張がほぐれ、笑顔が増えていきました。

最後は全員と記念撮影をし、交流会を終えました。



## 中沖小学校



## 持留小学校



## ホストタウンのこれから

大崎町は2020東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾のホストタウンとして登録されています。これはトリニダード・トバゴ共和国に引き続き2カ所目となります。

今後大崎町は、2020東京オリンピックにおいて、台湾とトリニダード・トバゴ共和国の事前合宿地に選ばれており、今後は、事前合宿等の機会を通じて、相手側と地域住民や児童との交流を大切にしながら、絆を醸成していくことが大切だと感じています。『日本だけでなく、この国も応援したい!』と考えるような国際交流をホストタウンから生み出していきたいと思えます。



▲鹿屋体育大学 練習後 記念撮影